

特別支援9校の給食費

4月から値上げ方針

県は八日、県立特別支援学校九校の給食費を四月から一人一食当たり二十五円値上げする方針を示した。既に各校のPTA会長と学校側で合意しており、今後保護者に説明、通知する。

値上げが正式に決まれば、消費税が5%から8%に引き上げられた二〇二四（平成二十〇）年四月以来、九年ぶりとなる。

県議会全員協議会で、給食費無償化を求める佐藤正雄議員（共産）の質問に答えた。値上げは原材料価格が高騰する中、給食の量と質を保つためという。二二年度は、値上げ相当分を県予算六百三十万円余で支援し、保護者の負担を掘え置いていた。値上げ後の一食当たりの給食費は幼稚部、小学部で三百二十五円、中学部、高等部で三百三十五円。（浅井貴司、水野志保）